

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療事務論 I Medical coding and billing I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	メディカルークユニットを履修している学生のみ。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
請求事務演習 I、医事コンピュータ I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療事務関連資格取得に必要な科目。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
草野 真範	講義棟1階 講師室	水曜 (講義時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
我が国の社会保険制度の概念、医療保険制度、医療関連法規および医療機関管理学を医療事務従事者の視点に立って、①社会保障制度、②医療保険制度、③健康保険制度 (社会保険、国民健康保険等) の3つの事項を主たる授業内容とし、制度の理解とその運用についての習得を図る。				
授業の目標				
①日本国憲法と社会保障の関連性を明確にできるようにする。 ②国民皆保険制度を理解し、医療現場での実際の運用をできるようにする。 ③医療保険の種類と制度の違いを理解し、正しい業務を遂行できるようにする。				
授業の方法				
講義、講演、事例検討、実技指導、ディスカッションを取り入れて、医療事務業務の知識および実践力の習得を図る。				
学習の成果 (学習成果)				
①多岐にわたる患者に応じた、医療事務従事者としての対応を身に付けることができる。 ②制度、法規に基づき医療機関経営に必要な提案ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	・ガイダンス ・社会保険制度の概要①			
第2回目	・社会保障制度の概要②			
第3回目	・医療保険制度① (健康保険法)			
第4回目	・医療保険制度② (健康保険法)			
第5回目	・医療保険制度③ (健康保険法)			
第6回目	・医療保険制度④ (健康保険法)			

第7回目	・医療保険制度⑤（国民健康保険法）
第8回目	・医療保険制度⑥（後期高齢者医療制度）
第9回目	・医療保険制度⑦（まとめ）
第10回目	・保険医療機関と窓口業務
第11回目	・公費負担医療制度①
第12回目	・公費負担医療制度②
第13回目	・公費負担医療制度③
第14回目	・公費負担医療制度④（試験）
第15回目	・労働者災害補償保険 ・自動車損害賠償保障法

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	14%	評価の観点と基準は以下の通り。 準備、積極性、集中力、協調性を総合的に評価する
レポート	18%	評価の観点と基準は以下の通り。（pt-ポイント） 80点以上=18pt/60点以上=12pt/60点未満=6pt/未提出=0ptへ換算する
調査報告書		
小テスト	18%	評価の観点と基準は以下の通り。（pt-ポイント） 80点以上=3pt/60点以上=2pt/60点未満=1pt/未提出=0ptへ換算し、6回の合計で18pt満点
試験	50%	評価の観点と基準は以下の通り。 S=90-100/A=80-89/B=70-79/C=60-69/D=59-0 ※評価基準への置き換えは、取得点数×0.5でpt換算し、50pt満点
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

「医療従事者のための医療事務概論2015-」（株式会社メドス 草野真範著）、「メディカルドクターズブック1」「医療事務講座テキスト1」「医療事務講座スタディーブック1、3」「技能審査問題集」（ニチイ）、「医療秘書技能検定実問題集3級①」（土屋出版 医療秘書教育全国協議会試験委員会編）、その他：授業担当者より適宜指示または資料を配布する

履修上の留意点・ルール

目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物の持ち込み禁止。